

(2024年9月30日現在)

### ■ 会社概要

商号	こころネット株式会社
発足	2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	福島県福島市鎌田字舟戸前15番地 1
代表者	代表取締役会長 齋藤 高紀 代表取締役社長 菅野 孝太郎
資本金	500百万円
決算日	3月31日
従業員数	グループ: 514名 [外、臨時従業員29名] 単体: 32名
事業内容	グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、不動産管理、総務・経理・人事等の管理

### ■ 役員

代表取締役会長	齋藤 高紀	取締役	石山 純恵
代表取締役社長	菅野 孝太郎	取締役 (常勤監査等委員)	加藤 重光
常務取締役	羽田 和徳	取締役 (監査等委員)	菅野 晴隆
取締役	熊坂 秀一	取締役 (監査等委員)	鈴木 一徳
取締役	伊藤 信弘		

### ■ 株主メモ

上場市場	東京証券取引所スタンダード市場
上場日	2012年4月25日
証券コード	6060
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL: <a href="https://cocolonet.jp/">https://cocolonet.jp/</a>
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務手続き	詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。 <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

# 株主の皆様へ

2025年3月期 第2四半期のご報告





代表取締役社長  
菅野 孝太郎

## 中期経営計画最終年度の取り組みに邁進する。



— グループ理念 —

私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらすサービスを提供いたします。

### Q1 当上期の経営環境と業績動向をお教えてください。

**厳しい経営環境が続く中、当上期は増収および営業増益を確保することができました。**

当上期における経営環境は、前期に引き続き、緩やかな景気回復傾向が見られた一方で、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクが見え隠れするとともに、物価上昇、中東情勢、金融資本市場の変動等の影響にも注視が必要な状況となっております。

当社グループが展開する事業を取り巻く環境については、葬祭事業や婚礼事業では小規模化・簡素化が継続し、石材事業やその他の装販部門では円安進行や物流コストの高騰による仕入価格の上昇等が生じました。

こうした環境下、当上期の連結業績は、葬祭事業の好調により売上高が前年同期比1.6%増、営業利益が同2.5%増と、増収および営業増益となりました。しかしながら、前年同期に計上していた為替に係る営業外収益が減少したことに加え、前期に閉館した婚礼会場に係る特別損失を計上したこと等により、経常利益が20.7%減、親会社株主に帰属する中間純利益が46.3%減と、減益となりました。

### Q2 当上期におけるセグメント別の状況はいかがですか。

**葬祭事業の増収が売上増を牽引したものの、利益面では主力3事業すべてで厳しい状況となりました。**

葬祭事業では、コロナ禍以降も葬儀の小規模化・簡素化が継続する環境下、小規模葬儀専用会館の充実を図るため、葬祭会館5施設の開設と、1施設の開設準備を行いました(後述)。営業面では飲食・オプション販売好調が奏功し、更に前期に連結子会社化した株式会社喜月堂セレオが業績に貢献しました。一方で、人件費やのれん償却額等の経費が増加した結果、増収減益となりました。

石材事業では、仕入価格が高騰する中、墓石の小型化や廉価な石種への需要転換傾向が進んでおります。こうした環境下、石材小売では営業強化等によりリフォームや墓じまい等の受注増となりましたが、石材卸売では埋葬の多様化等により販売数量が大幅に減少した結果、石材事業全体では減収減益となりました。

婚礼事業では、営業エリアの婚礼施行件数が減少傾向で推移する中、営業規模の適正化(=規模の縮小)を図るため婚礼会場を閉館したこと等により、減収となりましたが、営業損失ながら前年

同期比で赤字幅を圧縮することができました。

### Q3 通期の連結業績見通しをお教えてください。

**現時点においては、期初に立てた業績予想を据え置いております。**

主に石材事業の経営環境悪化(お墓の小規模化や埋葬の多様化等)を受けて、当上期の売上高および営業利益が期初予想を下回りましたが、当期(2025年3月期)の通期連結業績見通しにつきましては、季節変動要因や不確定要素等があることから、現時点においては据え置いております。通期の連結業績は、売上高が前期比3.9%増の10,430百万円、営業利益が同13.9%増の750百万円、経常利益が前年同額の830百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比31.0%減の400百万円を見込んでおります。

#### ■ 連結業績の推移(単位:百万円)

	2024/3		2025/3	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(予想)
売上高	4,799	10,035	4,874	10,430
営業利益	262	658	268	750
経常利益	377	830	299	830
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	235	579	126	400

### Q4 中期経営計画の進捗状況はいかがですか。

**「経営資源の集中と深化」など、3つの重点施策の総仕上げを推し進めてまいります。**

「第4次中期経営計画」(2023年3月期～2025年3月期)では、

「成長をスパイラルアップするフレームづくり」を基本方針とし、次の3つの重点施策を掲げております。

- 「価値創造のフレームづくり」
- 「経営資源の集中と深化」
- 「経営基盤の強化」

中計最終年度となる当期は、これら3つの重点施策の総仕上げに取り組んでおります。

経営環境がさらに厳しさを増す中、中長期的な業績回復に向けて特に注力しているのが「経営資源の集中と深化」です。この重点施策では、「戦略的アセットマネジメント」として、伸長を目指す事業に資源を集中する一方、業績不振となっている事業や施設の見直し等を推進しております。

具体的には、葬祭事業の需要変化に対応すべく、小規模葬儀専用の葬祭会館の開設に積極的な投資を行っており、当上期だけで葬祭会館5施設の開設と1会館の開設準備を行いました(詳細はP3-4の通り)。

また、婚礼事業では、「クワークーリアンテ サンパレス」(福島県)を2024年3月に閉館した一方、ケータリングや宴会等の料飲業務の受け皿として、ケータリング施設「フーズワークスサンパレス」や、宴会会場「f's sunfalace(エフズサンパレス)」(福島県)を開設いたしました。

引き続き、これら3つの重点施策への取り組みを続け、次の中期経営計画につなげてまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS  
1

## 新たな葬祭会館オープン

当社グループは、「第4次中期経営計画」の重点施策である「経緯資源の集中と深化」への取組みとして、戦略的アセットマネジメントを実施しております。

本中計の最終年度である当上期においては、コロナ禍以降も葬儀の小規模化・簡素化が継続する状況の中、小規模ニーズへの対応を充実させるため、葬祭会館5会館の開設、1会館の開設準備を進めてまいりました。

これにより当社グループ全体としては、2024年9月末現在、葬祭会館44会館を運営しております。

### 葬祭会館のオープン状況(2024年5月以降)

#### 【福島地区】



2024年8月 とわノイエ 鎌田  
(福島県福島市)



2024年12月(予定) とわノイエ 矢野目  
(福島県福島市) 45番目の施設

#### 【郡山・会津地区】



2024年9月 こころ斎苑 大槻  
(福島県郡山市)



2024年5月 とわノイエ 門田  
(福島県会津若松市)

#### 【宇都宮地区】



2024年8月 とわノイエ 峰  
(栃木県宇都宮市)



2024年8月 とわノイエ 鶴田  
(栃木県宇都宮市)

TOPICS  
2

## バンケット会場「f's sunpalace」オープン

当社の連結子会社である株式会社With Weddingは、2024年10月1日に福島市内のキョウワグループ・テルサホール内にバンケット会場「f's sunpalace」(エフズサンパレス)を開設し、主に宴会サービスの提供を開始いたしました。



2024年4月～ ケータリング施設「フーズワークスサンパレス」(福島県福島市)を開設し、ケータリングサービスを開始

2024年10月～ 福島県福島市にあるキョウワグループ・テルサホールにおいて、フーズワークスサンパレス専用のバンケット会場「f's sunpalace」(エフズサンパレス)を開設し、バンケットサービスの提供を開始

詳しくはホームページをご覧ください

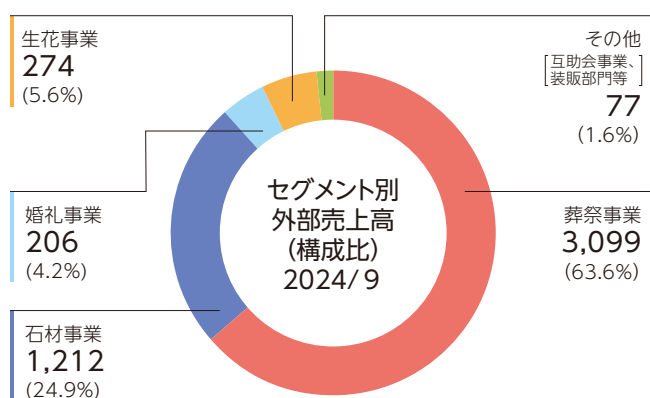


■ 決算・業績ハイライト

(単位:百万円)

	2023/9	2024/9	増減率
売上高	4,799	4,874	1.6%
営業利益	262	268	2.5%
経常利益	377	299	△20.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	235	126	△46.3%
	2024/3	2024/9	増減率
総資産	19,267	18,890	△2.0%
純資産	8,572	8,670	1.1%
自己資本比率	44.5%	45.9%	1.4pt

■ セグメント別外部売上高(構成比)



※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示しております。

■ 決算のポイント

売上高の状況

主に葬祭事業における増収により、売上高は前年同期比1.6%増加しました。

損益の状況

売上高増加の一方、子会社の増加に伴う経費が増加したこと等により、営業利益は前年同期比2.5%の増加となりました。また、前年同期に計上していた為替に係る営業外収益が減少したこと及び前年度に閉鎖した婚礼施設に係る特別損失を計上したこと等により、経常利益は前年同期比20.7%減少、中間純利益は前年同期比46.3%減少となりました。

セグメント別の概況

**葬祭事業**：飲食やオプション販売が好調だったことにより葬儀・法事の施行単価が増加しました。また前年度に連結子会社化した株式会社喜月堂セオが業績に貢献したこと等により、売上高は前年同期比18.3%増加しました。

**石材事業**：石材小売において、リフォームや墓じまいの受注が増加した一方、埋葬の多様化等により石材卸売の販売数量が大幅に減少したこと等により、売上高は前年同期比11.7%減少しました。

**婚礼事業**：営業規模の適正化を図るため、婚礼会場を閉鎖したこと等により、婚礼・宴会施行件数が大幅に減少し、売上高は前年同期比52.1%減少しました。

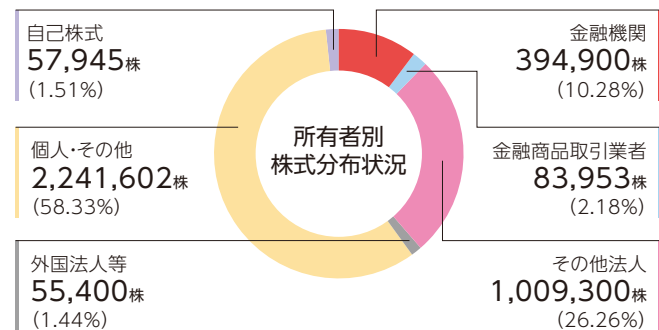
**生花事業**：葬儀の小規模化が継続し、生花需要は減少傾向で推移したこと等により、前年同期比2.6%減少しました。

**その他**：互助会事業では、新規会員の募集や葬儀施行後の再加入等に注力しました。また装版部門では、オリジナル紙棺「悠舟」や高級棺の販売に注力しましたが、販売数量は伸び悩みました。その結果、売上は前年同期比10.7%減少しました。

■ 株式の状況

発行する株式の総数	5,100,000株
発行済株式の総数	3,843,100株
株主数	907名

■ 所有者別株式分布状況



■ 大株主

(2024年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
カンノ合同会社	920,000	24.31
齋藤 高紀	432,300	11.42
川島 利介	281,975	7.45
株式会社東邦銀行	175,000	4.62
こころネットグループ従業員持株会	173,640	4.59
株式会社福島銀行	135,000	3.57
内藤 征吾	115,100	3.04
水元 公仁	103,900	2.74
菅野 孝太郎	89,040	2.35
野村證券株式会社	65,500	1.73

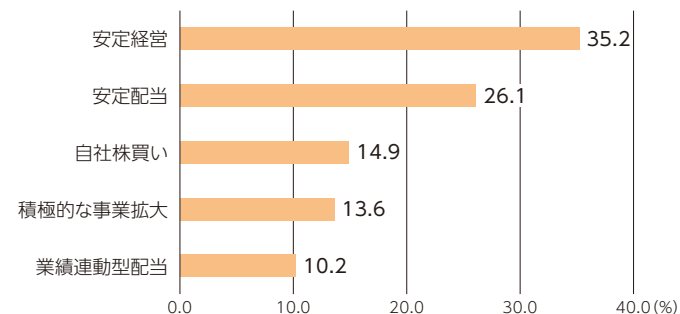
※カンノ合同会社は、当社代表取締役社長菅野孝太郎及びその親族の保有資産の管理を行う会社です。

※持株比率は自己株式(57,945株)を控除して計算しております。

前回の株主様アンケートのご報告(2024年3月期 第2四半期)

「株主の皆様へ(2024年3月期 第2四半期号)」において、株主様アンケートを実施させていただいた結果、82名の株主様よりご回答をいただきました。(回答率8.9%)

■ 今後、当社に最も期待されるものをお聞かせください。



■ 株主様のお声の一部

- 株価対策をすべき水準だと思います。
- 株価を上げる方策を聞きたい。
- 自社株買いをお願いします。金額は少なくともいいので。
- 株主還元は公平な配当の増配を願います。
- 株主還元方針及び企業価値向上策について詳しく知りたい。
- 家族葬が増えていますが、今後の事業の拡大方針を知りたい。
- 県内における冠婚葬祭総合企業のリーディングカンパニーになって欲しい。
- 地元のために貢献して下さい。
- 今後もM&Aを進めてほしい。

なお、今回の「株主の皆様へ(2025年3月期 第2四半期号)」において、株主様アンケートを同封させていただきました。皆様のご貴重なご意見を参考とさせていただき、今後の経営に役立てて参りますので、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。